

数学は、すでに あなたの生活の一部である。



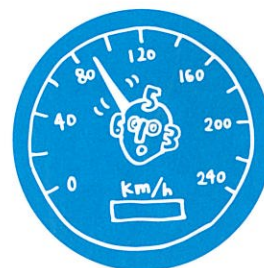
スマホの操作は xy 座標を
もとに行われている



パソコンは「0」と「1」で
動いている



音階と楽器の弦の長さは
 $y = a \times 2^x$ という
関係式で表される



スピードメーターには
微分が使われている

数学が得意なみなさん、ニガテなみなさん、こんにちは。

さて、上に挙げたものは、数学が日常生活に使われているごくわずかな一例です。

数学のことを好きだの嫌いだの言ってみたとこで、

数学はすでに私たちの生活の一部に組み込まれているのです。

でも実は、大人になればなるほど、数学のことなんて忘れていきます。

(よかったらあなたが今日解いた問題のどれか1つを、おうちの人に出題してみてください)

ただ、どんな学校に行っても、どんな職業に就いても、どんな暮らしをしても、

それこそ世界中のどこに行っても、

そこには必ずといっていいほど数学がひそんでいます。ほんとですよ。

あなたの一生のあいだで数学にもっとも時間をかけられるのは、たぶん今です。

数学を、公式暗記のままで終わらせたらもったいない。

数学の根底にある物語を、その若い想像力で探り出してほしい。

そうやって先人が見つけてきたものが、いまの生活をつくりだしています。

未来の生活をつくりだすのは、いまこれを読んでくれているあなたなのですから。



検定って、
どんなものなんだろう？

「実用数学技能検定」について

「実用数学技能検定」とは？

「実用数学技能検定」(後援:文部科学省)は、数学・算数の実用的な技能(計算・作図・表現・測定・整理・統計・証明)を測る記述式の検定で、公益財団法人日本数学検定協会が実施している全国レベルの実力・絶対評価システムです。
おもに、数学領域である1級から5級までを「数学検定」と呼び、算数領域である6級から11級、かず・かたち検定までを「算数検定」と呼びます。

実用数学技能検定														
数学検定							算数検定							かず・かたち 検定
1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	11級	こども 検定	幼児 検定
大学 一般	高校 3年	高校 2年	高校 1年	中学校 3年	中学校 2年	中学校 1年	小学校 6年	小学校 5年	小学校 4年	小学校 3年	小学校 2年	小学校 1年		幼児

※くわしくは裏表紙をご覧ください。

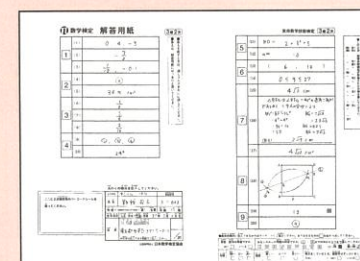
「実用数学技能検定」はどんな力が身につきますか？

記述式だから「考える力」や「表現する力」など



将来に役立つ**3つの力**が身につきます！

数学検定は、問題の答えや解き方をすべて解答用紙に書く「**記述式**」の検定です。



だから

将来の大学入試や就職試験、仕事で求められる**3つの力**が身につきます。2020年から大学入試でも**記述式**の問題が出題されます。

